

平成24年7月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年3月14日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ティー・ワイ・オー

コード番号 4358 URL <http://group.tvo.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 吉田 博昭

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 経営戦略本部長

(氏名) 上窪 弘晃

TEL 03-5434-1586

四半期報告書提出予定日 平成24年3月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年7月期第2四半期の連結業績(平成23年8月1日～平成24年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年7月期第2四半期	11,820	3.4	772	11.5	486	0.5	126	△68.0
23年7月期第2四半期	11,433	△15.8	692	74.4	483	182.3	396	—

(注) 包括利益 24年7月期第2四半期 125百万円 (△68.3%) 23年7月期第2四半期 395百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
24年7月期第2四半期	2.12	2.11
23年7月期第2四半期	10.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年7月期第2四半期	11,704	2,567	21.0
23年7月期	14,075	2,421	16.4

(参考) 自己資本 24年7月期第2四半期 2,458百万円 23年7月期 2,309百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
23年7月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年7月期	—	0.00	—	—	—
24年7月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年7月期の連結業績予想(平成23年8月1日～平成24年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	24,000	6.0	1,200	△1.1	700	△22.8	450	△34.6	7.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年7月期2Q	59,736,930 株	23年7月期	59,736,930 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年7月期2Q	608 株	23年7月期	463 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年7月期2Q	59,736,462 株	23年7月期2Q	37,675,363 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としておりません。実際の業績は、今後の様々な要因によって異なる可能性があります。連結業績予想につきましては、添付資料4ページをご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項	5
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) セグメント情報等	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災後のサプライチェーンの復旧に伴い持ち直しの動きを続けており、広告業界においても夏場以降にTV-CMを中心に需要の回復傾向が見られます。一方、欧州の政府債務危機、円高の長期化により、引き続き不透明感が続く状況にあります。

こうした環境下、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、大手制作会社の強みを活かした積極的な営業展開、クリエイティブ力と価格競争力を武器にTV-CM事業が好調に推移した事により、前年同四半期比で売上高が増加いたしました。営業利益につきましては、マーケティング・コミュニケーション事業における不採算部門の閉鎖・撤退及び収益管理の徹底による収益力強化、一部拠点の集約・削減等に伴う販売費及び一般管理費の削減が奏功し、前年同四半期比で増加いたしました。経常利益につきましても、昨年8月5日付けで締結したシンジケートローン契約に伴う198百万円の手数料を営業外費用として一括計上したものの、前年同四半期比で増加いたしました。一方で、昨年12月20日付けでGreat Works AB（スウェーデン）をMBOにより連結除外した事に伴って306百万円の特別損失を計上した事により、前年同四半期比で四半期純利益は減少しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高11,820百万円（前年同四半期比3.4%増）、営業利益772百万円（前年同四半期比11.5%増）、経常利益486百万円（前年同四半期比0.5%増）、四半期純利益126百万円（前年同四半期比68.0%減）となりました。なお、販売費及び一般管理費には、M&Aによるのれん償却額76百万円が含まれております。

また、上記シンジケートローン契約締結に伴う198百万円の営業外費用及びGreat Works ABの連結除外に伴う306百万円の特別損失の計上により、合計504百万円の一時的な業績の押し下げがあったものの、当第2四半期連結累計期間において126百万円の四半期純利益を確保するに到った事は、当社の収益力が着実に強化されつつある事の証左だと考えております。但し、マーケティング・コミュニケーション事業における利益率については改善の余地が大きいと考えており、今後も一層の収益力強化に努める所存であります。

セグメント別の概況は次の通りであります。

①TV-CM事業

当事業におきましては、TV-CMの企画・制作及びポスト・プロダクション業務を行っております。

東日本大震災後の産業界及び広告業界の復興と、TV-CM制作業界の大手制作会社の1社としての実績と信頼を背景に、グループ一体での営業展開、効率的な制作体制の整備、価格競争力の確保に努めた結果、新規広告案件の受注及び既存案件の拡大に到り、全体としては堅調に推移いたしました。

また、一部のブランドにおいては収益性が若干悪化していた為、規模の最適化、人員の再配置等の対応策を既に実施済みであります。

以上の結果、当事業は売上高8,326百万円（前年同四半期比1.7%増）、営業利益1,473百万円（前年同四半期比5.0%減）となりました。なお、販売費及び一般管理費には、M&Aによるのれん償却額18百万円が含まれております。

②マーケティング・コミュニケーション事業

当事業におきましては、国内外におけるWEB広告及びプロモーションメディア広告の企画・制作等、クロス・メディア広告事業を行っております。

当事業の国内部門では、売上高・利益共に業績目標には及ばなかったものの、当第四半期2連結累計期間において、期ずれ案件の回収や継続案件の拡大、スマートフォン関連等の新規案件を獲得した事により、前年同四半期比で売上高・利益共に増加いたしました。

当事業の海外部門では、昨年7月にGreat Works, S.L. (スペイン)、昨年8月にGreat Works America Inc. (アメリカ)の解散を決議した事、昨年12月にGreat Works AB (スウェーデン)をMBOにより連結除外した事により、売上高は前期実績を下回りました。また、同要因の影響及び、経営管理の徹底により費用低減を図ったことで前年同四半期実績より小幅となったものの、営業損失を計上しております。

尚、Great Works AB (スウェーデン)は、これまで売上高・利益共に業績目標の未達成を続け、当社の連結業績の大きな圧迫要因となっており、当第2四半期連結累計期間においても77百万円の営業損失を計上いたしました。同社のMBOによる連結除外は、一時的に306百万円の特別損失を計上する事となりましたが、同施策が損失を最小化し、今後の連結利益の増大要因となると考えております。

以上の結果、当事業は売上高2,987百万円(前年同四半期比4.3%増)、営業利益123百万円(前年同四半期比405.6%増)となりました。なお、販売費及び一般管理費には、M&Aによるのれん償却額57百万円が含まれております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べて2,370百万円減少し、11,704百万円となりました。現金及び預金及びのれんの減少要因がある一方で棚卸資産の増加が主な要因となっております。

当第2四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べて2,516百万円減少し、9,137百万円となりました。買掛金及び前受金の増加要因がある一方で、前述のシンジケートローン契約の締結による借入に伴い、これまでの借入を繰上返済するとともに、コミットメントライン1,500百万円の未使用により、有利子負債2,757百万円の減少が主な要因となっております。

当第2四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて145百万円増加し、2,567百万円となりました。四半期純利益の増加が主な要因となっております。

(キャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて2,102百万円減少し、2,140百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は918百万円(前年同期は、730百万円の獲得)となりました。主に仕入債務の増加及び法人税等の還付といった増加要因がある一方で、棚卸資産の増加といった減少要因によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は9百万円(前年同期は、15百万円の使用)となりました。主に債権の売却による収入、差入保証金の回収による収入、出資金の分配による収入といった増加要因がある一方

で、有形・無形固定資産の取得、保険積立金の積立による支出といった減少要因によるものです。
(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は3,024百万円(前年同期は、256百万円の獲得)となりました。主に長期借入金の返済による支出及びリース債務の返済による支出といった減少要因によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点においては、平成23年9月15日に発表いたしました、平成24年7月期通期の業績予想に変更はありません。通期業績予想につきましては現在精査中ではありますが、通期業績予想数値が確定次第、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号平成22年6月30日）及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号平成22年6月30日）を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方式にしております。

これらの会計基準等を適用しなかった場合の前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,242,302	2,140,204
受取手形及び売掛金	3,203,695	3,125,504
仕掛品	1,446,093	1,846,191
原材料及び貯蔵品	4,623	5,240
繰延税金資産	367,684	364,183
未収還付法人税等	134,067	—
その他	315,236	203,927
貸倒引当金	△776	△2,517
流動資産合計	9,712,927	7,682,733
固定資産		
有形固定資産	2,031,925	2,015,554
無形固定資産		
のれん	714,376	433,699
その他	91,543	74,265
無形固定資産合計	805,920	507,965
投資その他の資産		
投資有価証券	108,168	102,487
出資金	15,984	14,492
関係会社出資金	157,095	157,814
長期貸付金	695,200	695,200
繰延税金資産	32,554	19,125
保険積立金	812,107	837,102
差入保証金	354,959	343,003
その他	240,376	355,212
貸倒引当金	△891,841	△1,025,899
投資その他の資産合計	1,524,605	1,498,538
固定資産合計	4,362,450	4,022,058
資産合計	14,075,377	11,704,791

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年1月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,244,678	2,635,193
1年内返済予定の長期借入金	3,740,607	700,000
未払金	566,054	329,775
リース債務	100,971	111,431
未払法人税等	27,258	73,056
前受金	165,785	262,961
賞与引当金	26,270	40,663
海外事業損失引当金	63,744	4,231
その他	183,572	175,696
流動負債合計	7,118,943	4,333,011
固定負債		
長期借入金	4,016,844	4,300,000
リース債務	175,522	182,069
退職給付引当金	13,145	14,951
役員退職慰労引当金	264,846	245,621
資産除去債務	61,580	61,096
その他	2,527	557
固定負債合計	4,534,466	4,804,297
負債合計	11,653,410	9,137,308
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,751,057	1,751,057
資本剰余金	1,353,172	747,189
利益剰余金	△732,878	6,807
自己株式	△99	△109
株主資本合計	2,371,251	2,504,944
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△14,709	△15,789
為替換算調整勘定	△47,392	△30,820
その他の包括利益累計額合計	△62,101	△46,609
新株予約権	24,498	42,019
少数株主持分	88,318	67,128
純資産合計	2,421,967	2,567,483
負債純資産合計	14,075,377	11,704,791

(2) 四半期連結損益計算書及び包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年8月1日 至平成23年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年8月1日 至平成24年1月31日)
売上高	11,433,772	11,820,911
売上原価	8,810,451	9,391,203
売上総利益	2,623,320	2,429,707
販売費及び一般管理費	1,930,874	1,657,604
営業利益	692,445	772,103
営業外収益		
受取利息	3,384	1,219
保険返戻金	9,317	7,960
組合出資分配金	41,972	16,651
持分法による投資利益	152	195
その他	27,598	27,943
営業外収益合計	82,425	53,970
営業外費用		
支払利息	94,639	49,807
売上債権売却損	23,659	25,510
為替差損	14,696	27,979
組合出資減価償却費	37,406	11,131
資金調達費用	106,000	—
株式交付費	4,625	—
シンジケートローン手数料	—	198,650
借入金繰上返済費用	—	3,096
支払手数料	—	10,000
その他	9,858	13,526
営業外費用合計	290,885	339,700
経常利益	483,985	486,373
特別利益		
前期損益修正益	22,395	—
新株予約権戻入益	32,751	—
その他	2,060	6,348
特別利益合計	57,207	6,348
特別損失		
固定資産除却損	46,162	—
関係会社株式売却損	—	200,303
債権売却損	—	105,765
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	34,446	—
会員権評価損	9,424	15,922
その他	14,987	18,246
特別損失合計	105,021	340,237
税金等調整前四半期純利益	436,171	152,483
法人税、住民税及び事業税	84,202	65,047
法人税等調整額	△21,090	△9,370
法人税等合計	63,111	55,676
少数株主損益調整前四半期純利益	373,060	96,807
少数株主損失(△)	△23,051	△30,079
四半期純利益	396,111	126,886

(四半期連結包括利益計算書)

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年8月1日 至平成23年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年8月1日 至平成24年1月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	373,060	96,807
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,091	△1,114
為替換算調整勘定	22,304	29,148
持分法適用会社に対する持分相当額	△781	523
その他の包括利益合計	22,614	28,557
四半期包括利益	395,674	125,364
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	415,523	142,379
少数株主に係る四半期包括利益	△19,849	△17,014

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年8月1日 至平成23年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年8月1日 至平成24年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	436,171	152,483
減価償却費	133,468	128,841
のれん償却額	116,063	76,443
固定資産除却損	46,162	—
関係会社株式売却損益(△は益)	—	200,303
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	407	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,816	4,338
賞与引当金の増減額(△は減少)	△31,568	35,406
退職給付及び役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△46,676	△17,418
受取利息及び受取配当金	△3,384	△1,237
支払利息	94,639	49,807
持分法による投資損益(△は益)	△152	△195
出資金償却	38,406	11,431
債権売却損	—	105,765
資金調達費用	106,000	—
株式交付費	4,625	—
新株予約権戻入益	△32,751	—
株式報酬費用	—	17,521
シンジケートローン手数料	—	198,650
売上債権の増減額(△は増加)	178,712	△74,745
たな卸資産の増減額(△は増加)	△248,228	△400,749
仕入債務の増減額(△は減少)	253,535	435,263
未払金の増減額(△は減少)	△108,706	△114,316
前受金の増減額(△は減少)	206,877	81,997
その他	34,222	△58,487
小計	1,176,008	831,102
利息及び配当金の受取額	3,384	1,237
利息の支払額	△93,260	△32,287
法人税等の還付額	108,985	159,783
法人税等の支払額	△464,287	△40,896
営業活動によるキャッシュ・フロー	730,828	918,939

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年8月1日 至平成23年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年8月1日 至平成24年1月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△99,643	△55,526
無形固定資産の取得による支出	△46,073	△6,825
投資有価証券の売却による収入	1,625	3,389
連結範囲の変更を伴う関係会社株式の売却による支出	—	△10,226
差入保証金の回収による収入	54,921	11,773
差入保証金の差入による支出	△9,185	△219
出資金の払込による支出	△2,205	△11,088
出資金の分配による収入	31,717	12,564
保険積立金の払戻による収入	—	14,814
保険積立金の積立による支出	△30,403	△31,848
貸付金の回収による収入	82,025	12,126
債権の売却による収入	—	70,510
その他	1,923	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,297	9,442
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△100,766	14,136
長期借入れによる収入	—	1,333,155
長期借入金の返済による支出	△786,420	△4,090,607
株式の発行による収入	1,189,393	—
シンジケートローン手数料の支払額	—	△198,650
リース債務の返済による支出	△45,757	△55,674
少数株主への配当金の支払額	—	△4,175
その他	504	△23,106
財務活動によるキャッシュ・フロー	256,952	△3,024,921
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,073	△5,129
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	969,409	△2,101,668
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△430
現金及び現金同等物の期首残高	2,825,231	4,242,302
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,794,641	2,140,204

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年8月1日至平成23年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	TV-CM 事業 (千円)	マーケティング・コミュニケーション 事業 (千円)	合計 (千円)	その他 (千円) (注) 1	調整額 (千円) (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 3
売上高						
外部顧客への売上高	8,187,746	2,863,155	11,050,901	382,870	—	11,433,772
セグメント間の内部売上高 又は振替高	29,072	107,467	136,539	42,290	△178,829	—
計	8,216,818	2,970,622	11,187,441	425,161	△178,829	11,433,772
セグメント利益又は損失(△)	1,550,954	24,331	1,575,286	△25,891	△856,948	692,445

(注) 1 その他は、アニメーション、テレビ番組、ミュージックビデオの企画・制作等を行っております。

2 セグメント損益の調整額△856,948千円には、セグメント間取引取消88,284千円及び全社費用△945,232千円が含まれております。全社費用は、主に管理部門に係る人件費及び経費であります。

3 セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年8月1日至平成24年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	TV-CM 事業 (千円)	マーケティング・コミュニケーション 事業 (千円)	合計 (千円)	その他 (千円) (注) 1	調整額 (千円) (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 3
売上高						
外部顧客への売上高	8,326,682	2,987,380	11,314,063	506,848	—	11,820,911
セグメント間の内部売上高 又は振替高	42,563	84,091	126,654	43,447	△170,101	—
計	8,369,245	3,071,471	11,440,717	550,295	△170,101	11,820,911
セグメント利益又は損失(△)	1,473,593	123,016	1,596,610	49,990	△874,497	772,103

(注) 1 その他は、アニメーション、ミュージックビデオの企画・制作等を行っております。

2 セグメント損益の調整額△874,497千円には、セグメント間取引取消47,270千円及び全社費用△921,768千円が含まれております。全社費用は、主に管理部門に係る人件費及び経費であります。

3 セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年10月31日付で、会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金を1,353,172千円減少し、その他資本剰余金へ振り替えました。また、同日付で、会社法第452条の規定に基づき、その他資本剰余金を605,982千円減少し、繰越利益剰余金へ振り替えました。